

第1回地域連携推進会議 議事録

日 時 : 令和7年11月17日(月) 16時30分～17時45分
場 所 : 特定非営利活動法人 福祉住環境地域センター内
グループホーム愛 saku 東田乃郷

参加者 : 豊橋市役所障害福祉課 (今回は予定が重なり不参加)
東田仲の町地区町内会長
〃 民生委員 (12月～新任・前任者都合により欠席)
東田 GH 入居ご家族
〃 ご利用者
特定非営利活動法人 福祉住環境地域センターwacnet 代表
グループホーム施設管理者(サービス管理責任者)
〃 事務担当責任者
〃 実務担当ソーシャルワーカー(サービス管理責任者)

進行内容 :

1. 開会のあいさつ

- ・ wacnet 代表からの挨拶。25年前に福祉事業を始め、障がい者はじめ、高齢者、外国人の方々、生活困窮者、子育て世帯等への支援に関し、様々な活動を展開してきたが、25年前と今ではもう時代が様変わりして来ている。今は、地域の皆さんといっしょに手を取りあって、事業展開していく必要がある旨、ご理解頂けるよう挨拶がなされた。
- ・ (各事業展開・実績に関する紹介資料配付)
- ・ 地域連携推進会議の趣旨説明(利用者と地域の方々との関係づくり・サービスの透明性と質の確保・利用者の権利擁護の推進等)。

2. 出席者紹介

上記、出席者より、簡単に名前と役職による自己紹介が行われた。

3. 会議進行

- ・ GH 施設管理者より、法人内 GH 愛 saku の歴史と各 GH の紹介(開設時期・設備・入居人数等)。
別紙にて、2008年11月 GH 開設～現在までの歴史と、GH 6カ所(三ノ輪 GH・

東田 GH・みんな GH・井原 GH・牛川 GH・宮本 GH) の写真入り紹介を配付。
また、現在の GH 愛 saku 各 GH の入居状況（月別入居者数・障害区分・年齢・男女比など）を別紙と共に説明・配付。

(ア) GH 内利用者の毎日の日課や活動内容について、当事者メンバーより紹介。

(イ) 地域からの意見や提案と、双方からの意見交換：

自治会長さんより 「(10 月の地域のお祭りの際のエピソードが出た) 自治会主催のお祭りがすぐ近くの公園で行われているが、その際、GH の入居者 4 人ほどが、無料配付の焼きそばをもらいに来たことがあった。ただ、観たことがない面々だったので、おそらく GH の人たちだろうな、とは思ったが、一応、責任者の職員さんといっしょに来てほしい、と伝えた」

GHpsw より 「その一件は、存じ上げているが、今までお祭り見学へ行って、責任者を連れてくるように言われたのは初めてのことで意外だった。ただ、GH 側として、町内会費は支払っているものの、お祭り会費は支払っていないことや、おそらく地域の子供会中心の焼きそば配付と思われたため、GH の 20 歳以上の大人のメンバーが大勢で焼きそばをもらいに行くのは違うのではないかと GH メンバーには注意し、もらいに行くのは控えてもらった。そもそも GH での昼食を配付した直後でもあり、お腹は満ち足りているはず、ということもあったため。大変失礼しました」

自治会長さん 「その通りで、お祭り会費が必要なこともあります。けれど、まずは、GH の入居者の方々がどんな人がいるのか、何人いるのか、ということがわからないので、ちょっと驚いたことと、まだ GH に関して、疑心暗鬼な地域のお年寄りもいて、やはりすんなりとはいかなかった」

GHpsw 「かなり昔の開設したばかりの頃、当時の入居者の中に問題行動を起こして、地域にご迷惑をかけたことがあります(その入居者は、問題行動が発覚した後、再入院・退居となった)」

自治会長さん 「そうです、そうです、かなり前の話ですが。でもまだ未だにそのイメージが残っていて、疑念や悪いイメージを持っている地域の方はいます」

当事者メンバーより 「すみません、いいですか。ただ、当事者側から言わせて頂ければ、我々も地域で生活している以上、どうやっても、地域と交わらざるを得な

いのも事実で、それを閉ざしてしまわれたら、どうやって生活していけばいいのか。障害を持っているから難しいと言われたら、それでは、どうやって、他人と関わり、地域に入っていけばいいのか、ということもあるんですよ」

自治会長さん 「そう、その通りですよ。なので、まずは、GH に誰が何人住んでいるか、ということだけでも知っておかないと、こちらも動きようがない。それで、以前、GH の入居者さんの名簿用紙を配付したと思うんです」

GHpsw 「そんなの見たことあったかなあ…？」

GH 管理者 「私が持ってます」

自治会長さん 「はい。それに記入して欲しいことと、また自治会で自主防災会というものがあって、災害時に、助けが必要な方の登録台帳も作ってるんです。それを市に提出します。それで、お年寄りや身体の不自由な方で、一人では逃げるできない人に、優先的に手助けできるように、消防団や消防署へこちらから連絡するようになってます。その用紙もありますので、今配付しておきます」

GHpsw 「それは、いいですね。助かります。(受領) ありがとうございます。まず、その辺りから始める、といことで」

GH 管理者 「今後も 1 年に 1 回ペースでまた開催したいと思いますので、よろしくをお願いします」

～まとめ、今回は、自治会長さんからのお話で、地域住民の方々に、GH 在住者が何人いてどんな人なのか、ということがまず認知されていなかったことや、10 年以上前のこととは言え、未だに、東田 GH 開設当初の入居者の問題行動が地域住民のトラウマとなって反感や疑心暗鬼の源となって根強く残っていることなど、警戒の念が強く残存することなどが明らかとなった。また、防災対策に関しても、いざ、最寄りの第一避難所の公園に行ったとしても、避難物資を分けてもらえるか、仲間外れにされてしまうのではないかと、といった新たな不安も生まれた。

今回は、地域連携推進会議と言う形では 1 回目となるが、実は、やはり以前、地域の自治会長さんや利用者親族の方、当事者の面々などが集って、住民会議は開かれている。その当時は、もう少し和気あいあいとしたニュアンスもあったが、今回は、かなり様相は異なり、地域の担当者が代わり、新しく以前より若手の女性の方々が

担当になったことや、こちらの入居者も入れ替わっていることもあるが、かなり現実的な話になったと思われる。また、民生委員の方は、まだ12月から新規担当のため、特に発言はなく、今後の参考にして頂いた。

4. GH 内の案内・見学

施設内紹介。会場となったリビングの他、大浴場、洗濯室、男女別フロアの入居スペース、入居メンバーの自室なども当事者承諾の下、見学して頂いた。

5. 閉会挨拶・見送り・終了。

2025.11.17

●R7.10月実績 10/31現在

①入居者数★

定員 51

R8

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
みんなGH	15	15	15	15	15	15	15						
三ノ輪GH	2	3	3	3	3	3	2						
宮本GH	6	6	6	6	5	5	5						
牛川GH	2	2	2	2	2	2	2						
井原GH	1	0	0	0	0	0	0						
東田GH	12	12	12	12	12	12	12						
計	38	38	38	38	37	37	36						262
入居率	75%	75%	75%	75%	73%	73%	71%	0%	0%	0%	0%	0%	

②区分

GH名	前月末	入居	退去	計	定員	入所率
みんなGH	15			15	19	79%
三ノ輪GH	3		1	2	3	67%
宮本GH	5			5	8	63%
牛川GH	2			2	7	29%
井原GH	0			0	2	0%
東田GH	12			12	12	100%
	37	37	38	36	51	71%

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男性	1	6	9	9	1	0	26
女性	0	0	4	2	3	1	10
	1	6	13	11	4	1	36
	3%	17%	36%	31%	11%	3%	
	1	12	39	44	20	6	122
平均区分			3.39				

③男女比

男性	26	72%
女性	10	28%
	36	

④年齡

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	
男性	1	1	3	4	10	6	1	26
女性	0	0	2	4	0	3	1	10
	1	1	5	8	10	9	2	36
	3%	3%	14%	22%	28%	25%	6%	

平均年齢

10 20 150 320 500 540 140 1680

46.7